

## 南アルプス市まち・ひと・しごと創生審議会 第1回グループワークの結果について(要点筆記)

### ○グループメンバー

グループ1		グループ2		グループ3		グループ4	
公募	軽部妙子	市議会	野中國幹	市議会	櫻田力	市議会	戸栗淳
市議会	飯野久	工業団地連絡協議会	山口研	商工会	小林徳男	中北保健福祉事務所	保坂理恵
市議会	小池伸吾	22校会	時田直人	ハローワーク	斉藤裕之	社会福祉協議会	八田房男
青年会議所	須貝裕介	郵便局	森敦宏	宅建協会	小澤政則	農業協同組合	肥后久
甲府信用金庫	小松辰也	YBS	依田浩二	UTY	山本太		

### (1)ワーク1

- ①良かった点
- ②悪かった点
- ③その他
- ④グループワーク後の意見

### (2)ワーク2

- ①基本目標1「地方に仕事をつくる」
- ②基本目標2「人の流れをつくる」
- ③基本目標3「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」
- ④基本目標4「魅力的な地方をつくる」
- ⑤グループワーク後の意見

## (1)ワーク1・・・①良かった点について

group	施策	カテゴリ	評価対象	対象となるKPI・事業	良かった点について
1	①	商工業	重要業績評価指標	地域産業の振興	・多くの目標が達成できてよかった
1	①	商工業	アクションプラン	新産業拠点整備事業	・南アルプスIC新産業拠点への誘致は良かった(受け入れの準備に問題はあると思うが)
1	②	商工業	重要業績評価指標	地域産業の振興 (創業した数)	・コロナ禍であったにもかかわらず、地域産業の振興で創業者数が22件と効果があらわれている。
1	⑤	移住定住	重要業績評価指標	移住・定住人口の拡大 (社会減・社会増)	・転入超過したことが良かった
1	⑤ ⑥	子育て 移住定住	重要業績評価指標	子育て支援の充実 移住・定住人口の拡大	・子育て支援が充実し、移住施策にもつながっていると考える。
1	⑤ ⑥	移住定住 子育て	重要業績評価指標	子育て支援の充実 移住・定住人口の拡大	・移住定住人口の拡大や子育て支援の充実についての施策は効果があると思うので継続していくべき
2	③	観光	重要業績評価指標	観光の振興 (入込客数関連)	・入込客数が目標値に大きく近づいていることが良かった。
2	⑤	移住定住	重要業績評価指標	移住・定住人口の拡大 (社会減・社会増)	・社会増の傾向が続いていることが良かった。
2	⑤ ⑥	子育て 移住定住	重要業績評価指標	子育て支援の充実 移住・定住人口の拡大	・友人が南アルプス市の「子育て支援策」を知り、定住先に決め住んでいる。子育て支援策は、市の強みとなっている。
3	②	商工業	重要業績評価指標	企業誘致の推進 (誘致・規模拡大した企業数)	・第2期戦略の中で最も成果を上げた項目と評価できる。
3	②	商工業	アクションプラン	新産業拠点整備事業	・市の将来に大きく影響する成果であった。
3	②	商工業	重要業績評価指標	企業誘致の推進 (誘致・規模拡大した企業数)	・外部の人間からすると、南アルプスIC近くの拠点整備については、発信力があってよかったです。 ・今後、積極的活用すべきです。
3	②	商工業	重要業績評価指標	企業誘致の推進 (誘致・規模拡大した企業数)	・新産業拠点の開業、企業の市内参入が実現した点が良かった。
3	③	観光	重要業績評価指標	観光の振興 (北岳・広河原・芦安エリアへの入込客数) (市HPへのアクセス数)	・多く増加している点が良かった。 ・外国人観光客の取り込みが見られたのか ・今後もシティプロモーションの効果による増加の維持が確保できるのはいいか
3	④	シティプロモーション	重要業績評価指標	観光の振興 (市HPへのアクセス数)	・確実に興味を持たれている方が増えている証拠。現代においては非常に重要。
3	④	シティプロモーション	アクションプラン	シティプロモーション事業	・いかに本市を訪れていることにつながるか、提供できる成功と効果を具体的に確かむことを検討する必要あり。
3	⑤	移住定住	アクションプラン	「若者世帯定住支援奨励金事業」 「交流定住促進事業」 「住定リフォーン等総合支援事業」	・活用実績が増加傾向にあり、移住定住に結びついている。
3	⑤	移住定住	重要業績評価指標	移住・定住人口の拡大 (社会減・社会増)	・移住定住人口の拡大について、社会増が社会減より上回った点が良かった。
3	⑤ ⑥	子育て 移住定住	重要業績評価指標	子育て支援の充実 移住・定住人口の拡大	・子育て支援の充実と移住定住人口の拡大がリンクして、転入人口の増加へとつながっている点が良かった。

3	⑥	子育て	重要業績評価指標	子育て支援の充実 (子育てしやすいまちだと思ふ市民の割合)	・子育て支援(経済的・精神的)は効果ありと評価できる。
3	⑥	子育て	アクションプラン	子ども医療費助成事業	・成果指標「子育ての環境が整っていると感じている市民の割合」は医療費の助成だけで判断できるものではない。 ・成果指標を見直すべきである。
3	⑥	子育て	アクションプラン	申請時おむつ代支給事業	・成果指標「子育てが楽しいと回答するの割合」は、事業とは関連性が無い。 ・成果指標を見直すべきである。
4	①	農業	重要業績評価指標	地域産業の振興 (農業収入)	・シャインマスカットが増産されたこと
4	①	農業	アクションプラン	南アルプスブランド戦略	・シャインマスカットのブランド化の検討を始めたこと
4	②	商工業	重要業績評価指標	企業誘致の推進 (誘致・規模拡大した企業数)	・下今諏訪工業団地の開発により企業導入があり、雇用や人口増につながっていく。
4	②	商工業	アクションプラン	新産業拠点整備事業	・fummotの誘致により完熟農園跡地の利用が決定した。
4	⑤	移住定住	重要業績評価指標	企業誘致の推進 (誘致・規模拡大した企業数)	・南アルプスICの拠点整備が進んだことで、人口が増加(定住の増加)につながった。
4		商工業 子育て 観光 移住定住			・概ね目標値を達成できている ・特に「企業誘致、拠点整備」「子育て支援の印象が良い」「コロナ禍を経て山岳観光が戻りつつある」「定住が伸びている」など

## (1)ワーク1・・・②悪かった点について

group	施策	カテゴリ	評価対象	対象となるKPI・事業	悪かった点について
1	②	商工業	重要業績評価指標	企業誘致の推進	・南アルプスIC周辺整備事業の具体的な方向性が見えていない ・コストコを迎えるにあたって、周辺整備をどうするのか
1	②	移住定住	重要業績評価指標	移住・定住人口の拡大 (南アルプス市に住み続けたいと思う市民の割合)	・「南アルプス市に住み続けたいと思う市民の割合」が減っている。その原因を追求すべきである。
1	②	移住定住	アクションプラン	芦安地区地域おこし協力隊事業	・芦安の地域おこし協力隊をもっとテーマをもって活動を進めるべき
1	⑤	シティプロモーション	重要業績評価指標	シティプロモーション事業 (市HPへのアクセス数)	・南アルプス市に住み続けたい割合の低下を考えるとシティプロモーションが悪いのではないかな？ →移住定住につなげるための発信なのか →観光(滞在型・周遊型)に繋げたいのか
1	⑧		重要業績評価指標	安全な暮らしを守る環境づくり	・「地域で助け合いが行われていると感じる市民の割合」と「老後も安心して暮らせると思う市民の割合」が低い
1	⑨	自然	重要業績評価指標	自然との共生 (ユネスコエコパークについて知っている市民の割合)	・成果が低い。周知の仕方に工夫が必要。
1	⑨	自然	アクションプラン	自然との共生 (ユネスコエコパークについて知っている市民の割合)	・周知が足りない
2	①	農業	重要業績評価指標	地域産業の振興	・農業後継者支援事業がありきりである。 ほかの自治体との差別化として後継者発掘・新規就農者斡旋のプロセスを検討するべき。 経済的負担の軽減だけでは差別化は計れない。 遊休農地・荒廃農地を活用したプログラム等を農協と連携、観光と連携した販路(海外への販路)拡大の活用など一貫した支援が必要。
2	④	福祉	重要業績評価指標	安全な暮らしを守る環境づくり	子育て、若年層への支援は手厚いが、高齢世帯への支援も手厚くしていないと人生100年時代と逆行してしまう。
3	③	観光	重要業績評価指標	観光の振興 (平地への入込客数) シティプロモーションの推進 (市HPへのアクセス数)	・平地への入込客が誘導しきれていない。 ・シティプロモーションが必要。 ・コンテンツ(果樹観光、山岳観光等)を活用する振興は続かない。 ・観光地としての基盤整備や地域の協力・気運の醸成が必要不可欠。
3	③	観光	重要業績評価指標	観光の振興 (平地への入込客数)	・目に見えた成果が出ていないように感じた。 ・「入込客数」について、コロナ禍と言えどR2～R4は極端に下がっている。R5実績も思わしくない。
3	③	観光	アクションプラン	南アルプスフルーツ山麓フェスティバル開催事業	・R1と比較すると市外参加人数56%減、延べ参加人数も27%減となっている。 ・天候不順による影響を受けやすいといったコメントもわかるが、真の原因があるのではないかな？
3	③	観光	アクションプラン	観光プロモーション事業	・ユネスコエコパークのガイドブックを2万部配布したことが「地方創生に相当効果があった」との評価であるが 入込客層数は減少しているのに何をもって相当の効果があったと評価しているのか？
3	③	観光	アクションプラン	ふるさとづくり推進事業	・成果指標に県外からの参加者数とあるが、R1が37名に対して、R5が39名で効果があったといえるのか。
3	④	観光	重要業績評価指標	観光の振興 (平地への入込客数)	・事業効果が見えてこない。
3	⑤	移住定住	重要業績評価指標	移住・定住人口の拡大 (南アルプス市に住み続けたいと思う市民の割合)	・住み続けたいと思う市民が少なかった。

3	⑤	空き家	アクションプラン	空き家バンク事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家自体は増加傾向にあるにもかかわらず、成果(成約数)は年々下がっている。</li> <li>・空き家購入のプロセスに沿った支援が必要。例えば <ul style="list-style-type: none"> <li>①物件検索(紹介や案内、地域の特色・地域柄、押しポイントの紹介)</li> <li>②検討(耐久度チェック・購入者から意見など不安の解消に向けた支援)</li> <li>③購入(購入費用、引っ越し費用、リフォーム費用)当抜本的な改革が必要。</li> </ul> </li> <li>・一般的な紹介サイトと比べても、市で行っている空き家バンク事業はは仲介料(100~300万円)が発生しないだけでも購入者にとっては非常にメリットがある。なぜ成約数が増えていかないのか。</li> </ul>
3	⑦	多様性	重要業績評価指標	多様性社会の構築 (審議会等における女性委員比率)	・成果が得られず、多様な意見が取り入れられない。
3	⑦	多様性	重要業績評価指標	多様性社会の構築 (自治会加入世帯の割合)	・地域コミュニティ(自治会等)の形成と多様性社会の構築の両方は難しい。
3	⑧	防災	重要業績評価指標	安全な暮らしを守る環境づくり (自主防災会への防災リーダー配置率)	・養成講座を開始した平成25年から11年が経過しているが、未だすべての自治会へ配置できていない。
3	⑧	防災	重要業績評価指標	安全な暮らしを守る環境づくり (防災リーダー養成講座協働事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度に災害対策基本法の改正による「地区防災計画制度」が創設され、市も計画策定に向けて自主防災会に呼び掛けてはいる。</li> <li>・しかし、現状3/127と2.4%となり、地域防災力が向上したとは言えない。</li> <li>・1月の能登半島地震は記憶に新しく、国内各地で災害が発生していることを念頭に、地域防災力の強化に本腰を入れるべきである。</li> </ul>
3	⑧	防災	重要業績評価指標	安全な暮らしを守る環境づくり (防災リーダー養成講座協働事業)	・防災対策の再構築が必要
3	⑧	防災	アクションプラン	安全な暮らしを守る環境づくり (防災リーダー養成講座協働事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標「甲斐の国防災リーダー養成講座修了数」を掲げているが何をもって地域防災力が向上したと評価しているのか。</li> <li>・修了者が増えることで達成できるものではなく、修了者が地域で具体的な取組を行い、安全・安心な防災体制を構築することで達成できるものである。</li> <li>・しかし昨年、市防災リーダー連絡協議会が開催した「主防災会長と防災リーダーとの意見交換会」では、自主防災会内での防災リーダーの立ち位置や取り組み内容が明確になっていない状況があることが明らかとなっている。</li> </ul>
3	⑧	交通政策	重要業績評価指標	安全な暮らしを守る環境づくり (交通政策推進事業)	・コストコがOPENした後の高速を含めた交通政策について不安がある。
3	⑨	自然	重要業績評価指標	自然との共生 (ユネスコエコパークについて知っている市民の割合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での学習推進事業の実施で関心が高まったと回答している事業が9割を超えた</li> <li>・一方でKPIは、登録10年が経過した現在においても34.5%である。</li> <li>・ユネスコエコパークが、核心地域・干渉地域などの特別な場所としての意識が10年たっても変わっていないからではないか？</li> <li>・多くの住民が暮らす移行地域で「自然と歴史と文化と社会活動(暮らし)」との関係性を明らかにし地域の発展を促すような取り組みとする必要がある。</li> </ul>
4	①	農業	重要業績評価指標	地域産業の振興	・農業者の高齢化が進んでいるため、新たな人材確保のための就農支援や耕作放棄地対等の対応が必要
4	①	農業	アクションプラン	新産業拠点整備事業	・コストコ誘致後のビジョンが見えない(買って帰ってしまう)
4	①	商工業	アクションプラン	地域産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事務事業が施策の成果につながっているのか検証はしているのか</li> <li>→どの程度営業所得の申告者数の増加へつながったか検証された方が良い</li> </ul>
4	① ②	商工業 観光	重要業績評価指標	地域産業の振興 観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド需要が増える中で、当市には滞在(ホテル等)する施設が少ない。</li> <li>・地元に着るお金が少ない。</li> </ul>
4	③	観光	重要業績評価指標	観光の振興 (平地への入込客数)	・滞在型観光の推進

## (1)ワーク1・・・③その他

group	施策	カテゴリ	評価対象	対象となるKPI・事業	その他
3	①	商工業	重要業績評価指標	地域産業の振興	・重要な事業であるため、制度のPRを始め内容の充実は不可欠である。
3	③	観光	重要業績評価指標	観光の振興 (平地への入込客数)	・インバウンドや観光客が 立ち寄る施設や施策が必要。 ・コストは大きな目玉だがそれ以外の施設等もあれば地域活性化につながるはず、例えば自然をうまく生かすとか。
3	⑤	移住定住	重要業績評価指標	移住・定住人口の拡大 (移住・定住事業関連)	・定住可能な条件の整備 ・市の情報だけでなく、移住・定住に必要な手続き等を可能な限り伝えてあげる(不安を解消してあげる)
3	⑦	多様性	重要業績評価指標	多様性社会の構築	・KPIにおいて、R1とR5で比較して大差なし。うち3指標がH30の実績値を下回っている。 ・新たな視点による取り組みを進めなければ現状を変えることは難しい。
3	⑧	地域医療・健康づくり・公共交通	アクションプラン	安全な暮らしを守る環境づくり	・「防災リーダー養成講座協働事業」以外の事業は、必要な事業であり、内容の充実を図りながら継続すればよいのではないかと。
3	その他				・資料3重要業績評価指標と資料4アクションプランは、各年度の目標値と実績値との関係がわからない。 ・目標値を定め、達成するための取り組み(結果と原因)の関係を検証することが重要だと思いが読み取りづらい。 ・PDSAをきちんと回すことが求められるのではないかと。

(1)ワーク1…④グループワーク後の意見

group	施策	カテゴリ	評価対象	対象となるKPI・事業	グループワーク後の意見
3	① ③	商工業 観光	重要業績評価指標	地域産業の振興 シティブロモーションの推進	・総合戦略を進め、改善した項目を入れていくとよい ・もっと努力の必要がある項目がみられる。 ・経済面や観光面など特定した項目がみられるので統合したプロモーションを求める。
3	①	商工業	重要業績評価指標	企業誘致の推進 (新産業拠点整備事業)	・fummot、コストコの進出は他の創業を産み出してくる。
1	③	観光	重要業績評価指標	観光の振興 (北岳・広河原・芦安エリアへの入込客数)	・山岳観光客数がコロナ前に戻ってきていない。
1	③	観光	重要業績評価指標	観光の振興	・観光の推進の方針を改めて検討すべきである。
3	③ ④ ⑤	観光 移住定住 シティブロモーション	重要業績評価指標	観光の振興	・観光戦略が必要 ・地域観光資源を活用し、地域にお金を落としてもらう、定住者を増やす等々へ繋げていくためのPRを含めた施策が必要
1	⑤	移住定住	重要業績評価指標	移住・定住人口の拡大 (南アルプス市に住み続けたいと思う市民の割合)	・南アルプス市に住み続けたい割合が低い。
1	⑤	移住定住	重要業績評価指標	移住・定住人口の拡大 (芦安地区地域おこし協力隊事業)	・芦安特化の地域おこし協力隊は必要なのか？
1	⑤	移住定住 まちづくり	重要業績評価指標	移住・定住人口の拡大 安全な暮らしを守る環境づくり	・外へのアプローチに目が向いていて、住み続けたいまちづくりの視点が薄い
1	⑦	多様性社会	重要業績評価指標	多様性社会の構築 (審議会等における女性委員の比率)	・女性の参画の比率が減っている。
3	⑦	多様性社会	重要業績評価指標	多様性社会の構築	・若い女性の住みやすさ、仕事はあるのか
3	⑧	福祉	重要業績評価指標	安全な暮らしを守る環境づくり	・医療等への住民不安
3		教育	重要業績評価指標		・教育面の施策の充実が必要だと感じた。

(2)ワーク2・・・①基本目標1「地方に仕事をつくる」

group	カテゴリ	基本目標1「地方に仕事をつくる」について
1	商工業 過疎	・企業誘致の数は未達だが、質は良いと思うので、特区でも作って進めてください。 ・戸安はどうするのか？
1	商工業	・創業者への継続的な支援施策 ・企業誘致等の継続的な活動
1	商工業	・中小企業・個人事業者への支援(誘致は良いが、1次産業と2次産業が、土地のせめぎあい)
1	商工業 DX	・企業誘致に力を入れる ・DXを活かした新たな企業支援
1	商工業	・市が働きやすい環境づくりをしていること、応援していることを周知する。 ・行政主導で、金利メリット、子育て応援企業、働き方改革等に取り組んでいる企業を市としてPRしていく。 ・働きやすい環境・企業が南アルプス市にはあることをPRしていく。
2	農業 商工業	・就農が軸となっており各種支援策に取り組まれているが、農業は天候等に左右されるためいかに持続していただくのが課題 ・海外販路やデジタル農業、高級志向などを旨とした農業の基盤となる環境整備が必要 ・セカンドライフとして農業を選択できるよう事業継承などの支援も必要
2	商工業	・市内企業間でのビジネスが無い(ブランドの活用等でビジネスの創出)
2	商工業	・企業への補助額が低い
2	商工業	・企業誘致は成功している。民間企業の世代交代を進める。
2	農業 商工業	・農業、観光を充実させる。 農業では、特産品をつくり、観光では、フルーツ観光に力を入れる。 戸安の温泉街の整備、山岳観光(楡形山の再整備)などに力を入れる。
3	商工業	・南アルプスIC周辺整備事業が、高度活用検討推進計画の策定まで進んでおり、事業の具体化に向けた検討に入る段階である。 ・「しごと」が「ひと」を呼び「ひと」が「しごと」を呼びこを実現するための取り組みである。 ・新たなまちづくりのコンセプトを明確にして取り組んでもらいたい。
3	商工業	・若い人の企業に対する意欲を取り上げる。
3	商工業	・誘致企業と地場産業の共存 ・限られた人手と資源の活用
3	商工業 シティプロ 子ども	・地域で働く人の環境は整いつつあるので、地域で働くことの魅力を子どもに強く発信(教育する)
4	農業	・農業者の高齢化対策と農業収入の増加
4	農業	・農業者の賃金問題による人手不足
4	商工業	・生活の基盤となるような仕事については、企業誘致によって消えていく可能性があると思う。 ・本市の人口規模では、人手不足が懸念される。



## (2)ワーク2・・・②基本目標2「人の流れをつくる」

group	カテゴリ	基本目標2「人の流れをつくる」について
3	観光	・「南アルプス市」という名称が非常に良い ・ヨーロッパのアルプス山系の国々とサミットを開催する。
3	観光	・本市は、山岳観光とフルーツ観光に注力し、拠点と拠点を結ぶ周遊観光も取り組んでいる。 ・しかし、第2期の戦略でも示されているとおり、十分な成果が上がっていない。 ・もともと登山愛好家から評価の高い北岳や周辺の山々が存在しているが、多くの人を呼び込めるような名所旧跡はなく、観光事業は難しさがある。※平地への入込局総数に占める割合は年々減少している。 ・南アルプス市内における自然・歴史・文化・産業などの魅力を資源とした新たな観光を自ら作り出していくことが必要。
3	文化財 ユネスコ	・「ふるさと○○博物館」により、これまで表に出ていなかった歴史や文化が明らかになってきた。 ・見える資源(モノ)と見えにくい又は見えない(コト)を織り交ぜた「南アルプスものがたり(日本列島ができたことからのものがたり)」を創出し、ユネスコエコパークを体感できるような観光のモデルコース(日帰り・宿泊)をつくり、周遊・滞在型観光を実現することはできないか。
3	空き家	・空き家の増加が現状の課題であり、空き家の流動性を計り、人の流れをつくる。
3	都市計画 自然	・総合的な都市と自然のプロモーション ・また、動線の確保や誘導に力を入れる。
3	シティプロ	・自然資源が豊かなこの市に「興味を持ってもらう⇒来てもらう⇒体験してもらう⇒住みたいと思ってもらう」といったストーリーのあるプロモーションが少ないため、外に向けての発信として強化していくことが重要
3	観光	・道路網は整備されてきているので、観光、買い物などインバウンドを含めた効果の見える発信、吸い込みの取り組みを考える。 ・観光客の受け入れ態勢の強化、ふるさとづくり推進事業の強化(ふるさとづくり公社の設立)
4	観光	・冬場の観光資源(果樹、山岳以外)
4	観光 移住・定住 シティプロ	・人口減少という課題があるなかで、住んでもらえる魅力ある地域(環境)づくりが必要
4	観光	・インバウンドの流れを止めないためにも、南アルプス市の観光をルートの(滞在型)につくる必要性を感じる
1	観光 道路	・コストコ等で新たな人の流れはできるので、その流れを止めない街づくりと交通網の整備が必要
1	DX 観光 教育	・AIを活用したイベント情報集約サイトの構築 ・Facebookに掲載されているイベントを含め、WEB上のイベント情報を自治体・観光協会のサイトにイベント情報を自動集約し、効率的に住民や観光客の目に着くようにする仕組みづくり ・中学3年生の進学を支援する取り組みで県内大学と連携し、教職を目指す学生ボランティア講師を派遣(連携先への進学数が増加→地域人材の好循環→地域教育力(学力)向上につなげる。
1	シティプロ	・シティプロモーションの有機的連携
1	空き家	・空き家の利活用による受け入れ態勢の強化
1	観光	・山ブームもあり、観光客は増えているが、資源を活かしきれておらず、滞留時間も短く、宿泊施設も足りない。
2	過疎 観光	・芦安(北岳)、櫛形山など自然環境は豊かであるが、アクセスなどが不便 ・イベントなども足りていないため、トレイルランの大会やインバウンド需要(有名なところはむしろ避ける傾向にある)に向けた街並みの整備が必要
2	シティプロ	・南アルプス市では、すでに様々な手法でシティプロモーションを行っている。 ・他の自治体も同様であるため、いかに差別化できるか、見ている人に「刺さる」ものをつくっていくことが課題。 ・他の自治体には負けない魅力を洗い出してPR
2	生涯学習	・櫛形総合公園の体育館、陸上競技場、野球場などの有効活用 スポーツだけではなく、各種イベント等でも活用するなど。

(2)ワーク2・・・③基本目標3「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

group	カテゴリ	基本目標3「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について
3	健康増進 子育て	・産婦人科の医師不足が深刻化している。施設の閉鎖も増えてきている。 ・子育て支援策に注力して評価も高いが、究極の支援策は、市内に産婦人科があることだと考える。 ・産婦人科の誘致を検討すべき ※茨城県境町では、小児科専門病院の誘致を実現している。
3	シティプロ 子育て	・南アルプス市の取り組みを若い世代の目線でプロモート ・タイムパフォーマンスを意識
3	子育て 教育 生涯学習	・子育てを行政がサポート(金銭面を含め)すると同時に、この地域で受けられる教育の質を高めることが大切だと思う。 ・図書館の利活用、スポーツ等を進め、健全育成を図る。
3	子育て 教育	・子育て支援策は充実していると思うが、子育てのために使われているのか不明瞭である。 ・ひきこもりなどの子どもへの支援が見えてこない。
4	商工業	・所得を増やすこと、安定した収入があること
4	教育 福祉	・生活していく上で充実した支援制度(教育・福祉(医療))
4	子育て	人口が微増に転じている中で、出産や子育てをする若者世帯が安心できる病院施設を充実させることが必要
1	子育て	産婦人科を含めた医療の充実、医大との医療連携を明確にする
1	子育て	・継続的な子育て支援(現状の事業継続) ・18歳までの医療費や給食費等の支援(補助) ・医療タウン的な、各クリニック集合施設開設による医療の充実化
1	子育て	・地域で子育て、子どもを守る体制
1	全般	・一人一人に寄り添った伴走型支援 ・結婚するまで(社会人になってから)の支援体制 ※特に女性に対して
1	子育て 多様性 教育	・子育て支援は多様化してきた。 ・入園のハードルが高く、時期(4月以外)も選べなくなっている。 ・多様性社会と言いつつ、学校現場は一斉教育。個性を活かしきれていない。
2	文化財	・石積み出しや、将棋頭、榊形堤防等の地域の歴史を学び、シビックプライドの醸成を図る
2	高齢者福祉	・若年層の手厚さは強く感じるが、人生100年時代であり、高齢者向けのサービス等20年30年後の未来を見据えた支援が必要
2	教育 福祉	・高専をつくって人材育成
2	移住・定住 全般	・地方では、移住施策などに力を入れているが、それでは人の取り合いになってしまう。 ・まずは、南アルプス市に生まれた方が、南アルプス市で家族を持てるような政策が望まれる。婚活イベントの充実など

(2)ワーク2・・・④基本目標4「魅力的な地方をつくる」

group	カテゴリ	基本目標4「魅力的な地方をつくる」について
1	まちづくり	・新しいまちづくり(チャレンジができる、安心できる受け入れ態勢(コミュニティ、仕事、生活、補助等))
1	全般	・総合的なブランド力が必要
1	全般	・長期的に生活するうえで必要なポイントを満たす必要がある ①どこへ行くにもアクセスが良い ②生活の利便性が高い ③災害に強い ④資産性が高い ⑤子育て環境が充実している ⑥価格相場予算の範囲内(生活コストが安い)
1	健康増進 高齢者福祉 ユネスコ	・健康リーグはどうなった ・75歳以上の人間ドッグ ・エコパークの周知と市民活動
1	自然	・本市の強みである自然を更に磨き上げ周知を図る
1	防災	・防災リーダーの配置率は上がってきているが、災害時の妊婦、乳幼児、神経発達症、障がい・高齢者等への支援体制に不安がある。
2	自然 介護 (終活)	・自然エネルギーの有効活用した生活スタイルの確立 ・スノーピークなどと連携したまち、家づくりなど自然を更に生かした事業共創 ・終活サービスの充実
2	教育	・南アルプス市の学園都市化。都留市を見てもわかる通り、大学がうまく機能すればまちが成り立つ。 子育て支援の次は教育支援。 いずれはこどものまち、農業のまち、山岳のまちなど学生が将来住みたいまちとして色付けすることが出来れば安定する。
2	商工業	・fummotの開業、コストコの誘致によって商業、観光業など産業的な発展が見込める。しかし、宿泊施設が少ないことが懸念される。 南アルプス市には電気がない。お客は車で来ることが多いと思うが、仕事で来る方は車とは限らない。日帰りさせてはいけない。 電車、バスで来た場合、滞在時間が限られる。 より大きな渦を産み出すためにもビジネスホテルなど誰でも気軽に活用できる宿泊施設が必要。
2	自然 道路	・南アルプス市はとても魅力がある。更によくするためには「きれいなまちなみ」がよい。例えばコストコ周辺の道路が草だらけとか、まちなちのあちこちに花があるとよい
3	多様性 (ワークライフ) SDGs	・第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略にはSDGsの記載が出てこない。 ・民間企業などは、前面に打ち出して、社内業務の改善や企業評価の向上を目指した取り組みを行っている。 ・その効果は事業の拡大にもつながっているといった報告も多い。 ・国内の自治体でも積極的な活動を展開して、自治体の票につながっているケースもある。 ・SDGsは「世の中」の流れであり、本市でも前面に打ち出して取り組む必要がある。
3	自然 ユネスコ	・カーボンニュートラルの取り組みを前面に打ち出して取り組むべきである。 ・ユネスコエコパークに登録されている本市がCO2削減に取り組むことはごく自然なことで、事実ゼロカーボンシティを宣言しているのであればもっと積極的PRしていくべきである。
3	政策	・「魅力的」の範囲が広く、届いているのか整理した方がよい。 ・ターゲットを意識
3	防災・防犯	・災害に対する施策が弱く感じる ・非常時における暮らしの安全確保は、安心な暮らし環境づくりに必要だと思う。
4	観光	・現在、期間限定の観光から通年の滞在型観光の創出が必須 ・若者が住みたいと思うまちづくり

(2)ワーク2・・・⑤グループワーク後の意見

<i>group</i>	<i>カテゴリ</i>	<i>グループワーク後の意見</i>
1	移住・定住 まちづくり	・住みやすいまちづくりって難しい、正解はないので特区をつくるなりして試行錯誤をし続けるしかない。 ・チャレンジできる体制づくりが必要。
1	全般	・4つの基本目標はつながっているの、そのつながりを示していく必要がある。
2	福祉	・どの世代にも優しい手厚いまちづくり
3	企業誘致	・重点地区を定めての再開発事業
3	シティプロ	・今後可能性の大きな市であるので、きちんとしたプロモーションを打てる体制づくりが重要
3	教育 シティプロ	・教育や医療が必要 ・ストーリーのあるプロモーションが必要(他のエリアと組んで集客を考えるのも良いと思われる。)
3	企業誘致 シティプロ	・インターチェンジ周辺整備 ・プロモーションの強化充実
4	全般	・基本目標4のサイクルが必要